

Q 町のイメージを高める取り組みは

A 本町を知ってもらい
足を運んでいただくことが重要



佐藤妙子 議員



南幌温泉上空から

佐藤議員

本町ではさまざまな町の変化で住民ニーズが多様化し複雑化している時代に対応するため、これまで以上に一歩踏み込み、より実効力のある行財政改革を推進することを目的に、第2次南幌町行財政改革実行計画「加速化プラン」を実行しています。中でも移住促進、観光振興では地域おこし協力隊を中心としたまちづくりを進めています。

町が大きく発展する追い風が来ている今こそ、町のイメージを高める取り組みが重要と考え、3点伺います。

①今後もどのような観光と移住を結び付けていくのか。

町長

①ホームページやSNSなどで一人でも多くの方々に本町の魅力を発信し、移住のきっかけづくりになるよう町内周遊などの施策に取り組みます。

佐藤議員

②加速化プランには移住体験住宅を活用した町の魅力を伝える移住コンシェルジュとあるが、どのように進めるのか。

町長

②令和4年度より地域おこし協力隊1名を採用し、移住者を迎える仕組みづくりを進め、活動後は移住・観光事業の起業化へとつながることを期待します。

佐藤議員

③南幌温泉周辺の環境整備やキャンプ場施設の整備、冬の観光集客の考えは。

町長

③公園用地を活用したキャンプ場の整備を含め検討し、冬の観光集客は冬のアウトドア等を検討します。

Q 子育て世代の
経済的負担の応援は

A 子どもの支援は町の
大きな施策として進めています

佐藤議員

少子化が加速し子育て環境が厳しさを増す中で、子育て世代の経済的負担は家計に大きく影響を及ぼすと考えます。一時的に負担の集中する妊産婦や乳幼児の経済的負担を町で応援することが必要と考えますが、3点伺います。

町長

①本町には産婦人科が無いことから町外での医療受診時にタクシー代助成の考えは。

佐藤議員

②紙おむつの購入費を助成する考えは。

町長

②紙おむつの購入助成二丁が低いことから助成

の考えはありませんが、訪問や健診を通して、必要の方に災害備蓄品を活用した支援を行っていきます。

佐藤議員

③災害時に即時に対応できるように液体ミルクを備蓄する考えは。

町長

③災害備蓄品整備計画に基づき整備を進めています。液体ミルクは今後整備していきます。

